

事業報告書

自 令和2年6月1日

至 令和3年5月31日

I 事業活動の概況に関する事項

(1) SCBイノベーションアカデミーの運営状況

地域活性化・地域創生の実現のために、地域においてイノベーションを創発することが急務となっている。この地域イノベーション人材育成のための学びの場の設立を目指したSCBラボの呼びかけに応じた崇城大学、福岡大学、東京都市大学の研究者とソフトバンク、フューチャーセッションズなどの社員がボランティアで有志チームを立ち上げ、2020年4月にSCBイノベーションアカデミーが設立された。アカデミーでは現在法人会員9社を含む43名が学んでいる。図1に講座の様子を示す。（詳細は表1を参照）

このアカデミーの取り組みは2021年6月現在、新聞（日経・産経・西日本・熊日）やRKKテレビ、FM熊本、J:COMやYahoo!ニュースなどのメディアに62回取り上げられており、近年はDXによる地域イノベーションの分野で総務省主催シンポジウムの開催（資料1・資料2）やIoT・AIセンターオープン記念イベント（資料3）開催という実績を上げ、さらに今秋の熊本でのDXシンポジウムの計画（資料4）に結びつくなど産官学を巻き込んだ大きな活動として注目を集めている。



図1 SCBイノベーションアカデミー講座

このような情勢の中、地域イノベーション人材を育成することによって、熊本の地域活性化・地域創生を実現するため、SCBラボはアカデミーの運営に引き続き注力していく。

表1 SCBイノベーションアカデミー講座開講実績

講座名	実施回数・実施日	参加者数
第1回オンライン特別講座	6回実施 2020年5月9, 16, 23, 30, 6, 13日	140名
第2回オンライン特別講座	4回実施 2020年9月5, 12, 19, 26日	120名
第3回オンライン公開講座	2020年10月4日	15名
熊本校レギュラー講座第1期	24回実施 2020年10月～2021年1月	26名 法人会員6社
熊本校レギュラー講座第2期	24回実施（予定） 2021年5月～8月	43名 法人会員9社

SCBイノベーションアカデミーに関連する地域イノベーション事業を下記に列挙する。

- ① J:COMレギュラー番組「SCBイノベーションアカデミー」 イノベーションをテーマにしたテレビ番組を毎月制作し放送している。（現在第10回を放送中）（図2）
- ② Pythonプログラミング教室 熊本市北区役所と連携し、小中学生向けに最先端のプログラミング言語であるPythonのプログラミング教室（全8回シリーズ）をオンラインで開催している。（図3）
- ③ 総務省受託事業地域ICTクラブ 総務省の事業を受託し、小中高校生向けにDX・イノベーション創発手法を学習し実践する2か月間の講座を開催した。（図4）
- ④ 熊本県立西高等学校イノベーション人材育成支援事業 SCBラボならびに崇城大学と包括的連携協定を締結した熊本西高からの要請により、高校生向け地域イノベーション創発講座を毎学期開講している。また高校生の日頃からの学びをサポートするためアカデミー講師が厳選したイノベーションに関する書籍を熊本県立西高等学校に寄贈

し、アカデミー図書コーナーを設けた。(図5)

- ⑤ 蔦屋書店熊本三年坂イノベーションHub化プロジェクトを支援 蔦屋書店熊本三年坂を多様なイノベティブな人材が集結する場(イノベーションHub)として進化させることで「書店のイノベーション」を創発し、ひいては熊本市中心市街地の活性化の実現を目指す取り組みを支援するため、SCBラボはニューコ・ワン株式会社ならびに崇城大学IoT・AIセンターと包括的連携協定を締結した。SCBラボは、連携協定に基づき、ニューコ・ワン社員に対してアカデミーで学ぶ機会を提供するとともに、社員や熊本県民のイノベーションの学びを支援するため、蔦屋書店熊本三年坂内にイノベーション図書コーナーを設置した。(図6)
- ⑥ 熊本市教育委員会中学生対象イノベーション講座 SCBラボと熊本市との包括連携協定に基づいて、熊本市と福井市の姉妹都市交流事業に参画し両市中学生に向けたイノベーション講座を実施した。(図7)
- ⑦ 地域イノベーション創発に関する講演会を実施 星合隆成SCBラボ所長による講演会を、2019年以降45件実施した。



図2 ①J:COMレギュラー番組
(第1回放送)



図3 ②Pythonプログラミング
教室



図4 ③総務省受託事業
地域ICTクラブ



図5 ④熊本県立西高等学校
イノベーション人材育成支援事業



図6 ⑤蔦屋書店熊本三年坂
イノベーションHub化を支援



図7 ⑥熊本市教育委員会中学生
対象イノベーション講座

(2) その他の事業の実施状況

- ① 早稲田大学連携による地域福祉イノベーション創発事業 SCBラボ、早稲田大学、熊本市社会福祉事業団が連携し、高齢者と子供たちによる囲碁を通じた世代間交流を行うことで、高齢者の認知症や孤独死を予防する取り組みを推進している。
- ② 日本パースト駐車場×福祉イノベーションプロジェクト SCBラボ、(株)日本パースト、熊本市社会福祉事業団が連携し、特に外出の機会が少ない男性の高齢者を対象に、日本パーストの駐車場顧客の洗車業務の有償アルバイトを募集し、手を動かし、話し、外出(運動)する機会を作ることで孤独死や認知症の予防を図る取り組みを推進している。

II 包括的連携協定などの締結状況

下記の団体と連携協定等を締結し、各団体が推進する地域活性化や地域イノベーション創発活動ならびに人材育成への支援をおこなっている。(括弧内は協定締結日)

- ① 株式会社エフエム熊本 (2013年11月13日)
- ② 熊本朝日放送株式会社 (2013年11月25日)
- ③ 熊本バスケットボール株式会社 (2014年5月9日)
- ④ 株式会社サンマーク (2015年12月9日)
- ⑤ 株式会社ジェイコム九州 (2017年5月11日)
- ⑥ 熊本信用金庫 (2017年4月24日)

- ⑦ 熊本県立熊本西高校（2019年12月13日）
- ⑧ 株式会社マイナビ（2019年12月17日）
- ⑨ 熊本県（2019年12月26日）
- ⑩ 熊本市（2019年12月26日）
- ⑪ 株式会社熊本日新聞社（2019年12月26日）
- ⑫ 株式会社ゼロテンパーク（2019年12月26日）
- ⑬ 早稲田大学総合研究機構（2020年7月15日）
- ⑭ 熊本市社会福祉事業団（2020年8月4日）
- ⑮ 熊本市北区役所（2020年8月27日）
- ⑯ 蔦屋書店熊本三年坂 / ニューコ・ワン株式会社（2020年11月16日）
- ⑰ 未来会議室（2020年11月30日）
- ⑱ 公益財団法人熊本YMCA（2021年3月18日）

Ⅲ 運営組織の状況に関する事項

(1) 基本情報

設立日 2019年1月7日

名称 一般社団法人SCBラボ

住所 熊本市西区池田4丁目22番1号

電話 090-9602-2967（内藤）

設立の目的 地方創生を目指し、地域社会の健全な発展を目的とし、地域コミュニティブランドの手法を用いて地域活性化の様々な活動を行うこと

(2) 事業

- ① アクティブラーニング教育プログラムの開発・提供・普及
- ② 出版事業
- ③ 広告事業
- ④ コンサルティング事業
- ⑤ セミナー、イベントの企画及び開催
- ⑥ 地域コミュニティ及びメディアの構築及び運営
- ⑦ 普及啓発活動
- ⑧ 地域で活躍できる人材の育成
- ⑨ 産官学連携推進にかかる活動
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な上記各号に付帯関連する一切の業務

(3) 社員

医療法人如水会

学校法人君が淵学園

株式会社ナレッジコミュニケーション

熊本バスケットボール株式会社

(4) 役員

顧問 中山 峰男（崇城大学学長）

顧問 中里 秀則（早稲田大学教授）

代表理事 嶋田 英敬（医療法人如水会理事長）

副代表理事 田尻 博子（COCO-CAWAII代表）

副代表理事 添島 絵美（添島歯科クリニック歯科医師）

理事（所長） 星合 隆成（崇城大学教授・早稲田大学招聘研究員）

理事 浅川 浩二（デルタワークス代表）

理事 内村 安里（株式会社スカイディスク代表取締役兼CEO）

理事 奥沢 明（株式会社ナレッジコミュニケーション代表取締役）

理事 小保方 貴之（一般社団法人ジョブラボぐんま副理事長）

理事 吉見 憲二（佛教大学准教授）

理事 片山 和洋（ハナウタカジツ代表）

監事 早田 啓考（コンセプトラボ株式会社取締役）

監事 内藤 豊（崇城大学助教）